

令和元年度第2回麒麟のまち創生戦略会議・サミット議事概要

日 時：令和元年11月5日（火） サミット：午後3時～午後
創生戦略会議：午後4時10分～5時

場 所：岩美町役場3階大会議室

出席者：サミット①②、創生戦略会議①のみ

①鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町副町長、
香美町長、新温泉町長

②鳥取市議会副議長、岩美町議会議長、若桜町議長、智頭町議長、八頭町副議長、
香美町議長、新温泉町議長

【サミット】

1 開 会 岩美町長あいさつ

2 意見交換 テーマ「日本遺産を生かした圏域の活性化について」

《岩美町議長》1市6町でのサミットに参加することによって、県東部1市4町だけでなく、兵庫県も含めた圏域での取組を考える機会。兵庫県2町も含めた圏域での取組に力を入れていきたい。

《岩美町長》麒麟獅子を生かした日本遺産であるが、ジオパーク認定と同様、麒麟獅子だけでは人を呼べるかどうかは疑問がある。1市6町が連携して観光客を誘致し、その上で、この圏域にはこういう文化があるということを知っていただくことが可能である。

《若桜町議会議長》日本遺産の構成文化財が、海岸線や鳥取市内に集中しているイメージであり、八頭・若桜・智頭にどうやって観光客を導いてくるかということということが課題である。若桜鉄道の観光列車を増便することになっており、この活用を図りたいと考えている。

《若桜町長》日本遺産認定の獅子舞とストーリー、構成文化財の活用にあたり、対象者とプロモーション内容が合致していることが大切である。1泊2日、2泊3日の観光日程を考える際、いかに構成文化財を組み込んでいけるか、また常時鑑賞ができない獅子舞をどう見せるのかが重要。先日、台湾の方が来鳥された際に、獅子舞を起用したが、日本独特ものを鑑賞できたと評価された。常時鑑賞できるような環境整備を、1市6町の観光事業にあわせて推進できればと考える。

《智頭町議長》智頭町は、SDGsの未来都市に7月に認定された。連携を図りながら、それぞれ各自治体が持つ素材や魅力を磨いて、全体で圏域の将来をどのように考えるのかということが必要だと考える。

《智頭町長》10数年前から韓国楊口郡と交流をする中で、子どもの獅子をつくろうということになり、本物の獅子頭と衣装を作成した。大人の獅子（舞）と子どもの獅

子（舞）があるということは全国的にも珍しいと思うので、活用を図りたい。

これから皆さんと一緒にあって、麒麟獅子の存在感を打ち出していきたい。

（八頭副町長）先日、本町の集落に海外から牡丹餅を食べに来た方があったが、SNS の情報を頼りに来たとのこと。八頭町では、ベトナムやアメリカ出身の方が地元集落に入ってこられているが、地域に在住している外国人の方に SNS で発信していただくことから始めてはどうか。

さらに、麒麟獅子舞に限らず、人形浄瑠璃や傘踊りなど、地域の伝統芸能の後継者が不足しており、休止している保存会もある。次の時代に伝承していくことを支援するシステムも考える必要がある。この伝承が自分のまちの良さの再発見・シビックプライドにつながり、まちをつくる、皆でがんばろうという意識につながる。

（八頭町副議長）若桜鉄道の若桜駅以外は八頭町に位置しており、その中の5つの駅は有形文化財になっており、貴重なものである。列車の「ななつ星」を手がけた水戸岡氏がデザインした駅舎である。これらの文化財を中心として、圏域の活性化に取り組んでいきたい。

（香美町議長）香美町においても、観光施策・定住施策に取り組んでいるが、人口減少に歯止めがかからない状況。やはり、個々の自治体の力だけでは、乗り越えられないことを麒麟のまちの1市6町で一緒に考えることができることは嬉しい。

（香美町長）町内においても、麒麟獅子舞の伝承があまり認識されていないので、まず町内から認識を高め、その上で日本遺産の機運を高めていきたい。

またジオパークにおいても、圏域全体での取組を進めており、先日、国会議員の皆様の視察があった。網代・浜坂・香住の港を見学していただいた。明日からは松葉ガニの解禁であるが、地域的にも産業的にも似通った部分があり、横のつながりをどう連携をつくっていくのか、今後の大きな課題である。山陰近畿自動車道の整備により、鳥取の中心部までが近くなり、さらにつながりが深まると考える。我々の地域が麒麟獅子でつながった連携を、水産業を含む産業・道路整備など、ほかの分野でも生かしていきたい。

（新温泉町議長）新温泉町では、大阪の麒麟のまちで観光大使の集いをしている。少子高齢化が避けて通れない中で、麒麟のまちにおいて日本遺産認定がなされ、これを生かさぬ手はない。ただ麒麟獅子舞だけでは、人が集まらない。圏域全体でいかに交流人口を増やすか・滞在時間を増やすかということが課題であり、構成文化財も活用し、さらにジオパークも上手く活用して、各市町を周遊していただくことが大切である。皆さんの意見を集約して、各市町を周遊できるようなルートを構築していけるとよい。

また、少子高齢化に伴い、麒麟獅子舞においても後継者が不足している。伝統芸能を継承するために、保存・保護ができる体制づくりも必要である。

(新温泉町長) 日本一住んでみたいまちとして紹介される岩美町を研究している。役場職員や、学校教員など、岩美町や鳥取市に住んでいる者も少なくない。ただ1市6町が奪い合う構図ではなく、お互いにレベルアップしあう連携ができればよい。観光、農林水産業など、いろいろな面で協力して、全国から来訪が増え、移住定住が増えるという仕組みになればよいと思っている。

(鳥取市長) 私たちの圏域は歴史的につながりが深い地域である。その中で、麒麟獅子舞を中心とするストーリーが日本遺産に認定され、大変よかった。日本遺産だけでなく、まだ素晴らしい魅力がたくさんあるので、再認識して、情報発信していくことが大切である。日本遺産の取組も今後いろいろな事業が予定されており、圏域がさらにPRされることになる。来年から、大河ドラマ“麒麟がくる”が始まるが、私たち「麒麟のまち」もPRしていかないといけない。日本遺産認定を契機に、これから取り組んでいくことが多くあるので、協力をお願いしたい。

(鳥取市副議長) 所属するライオンズクラブにおいて、JR 鳥取駅前に麒麟獅子舞の石像を寄贈したが、このような民間の長年の取組もあって、日本遺産に認められたのだと考えている。日本遺産認定を契機に、経済的発展はもちろん、山陰新幹線の早期実現など、麒麟のまちのサミットの連携を通じて、圏域の皆様とともに取り組んでいきたい。

3 開 会 岩美町議長あいさつ

【麒麟のまち創生戦略会議】

4 開 会 鳥取市長あいさつ

5 議 題

議事事項

(1) 農泊推進事業について・・・・・・・・・・資料1

〈新温泉町長〉兵庫県は規制が厳しく民泊の認可がなかなか下りないが、農泊と民泊の違いは何か。

〈事務局〉民泊は、昨年観光庁がつくった新たな制度である。兵庫県は新たな開業が困難なエリアであるが、鳥取県は開業を進めており、統一性のある制度となっていないのが現状。ホテル・旅館・民宿・ゲストハウスなど宿泊形態にこだわらず、宿泊していただいて、エリア内での体験・食を別に実施していただくものである。

〈鳥取市副市長〉DMO がそれぞれの市町・観光協会等と話をしながら進めていくのか。

〈事務局〉そのとおり。

(2) 日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況について・・・・・・・・資料2

《若桜町長》現在、インフォメーションコーナーが21施設ということだが、今後増やしていくのか。

《事務局》当面は21施設だが、各市町で情報発信したい施設等があれば、検討させていただく。

《鳥取市副市長》プロモーション映像制作のBS-TBSの番組は、放送後、ダイジェスト版など利活用していただけるものができる予定。

(3) 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの見直しについて・・・・資料3

《新温泉町長》地域食堂は、なぜ「地域食堂」として提案されるのか。背景はどうか。

《事務局》鳥取市においても、もとは「子ども食堂」でスタートしているが、地域の様々な人々が集まってこられる中で、子どもだけではなく、高齢者・障がい者など、様々な利用者にいろいろな効果をもたらす「誰でも食堂」という考え方に立ち、「地域食堂」として展開していく。各町担当者との意見交換の際に、地域の少子化が進む中で子どもに限定せず、地域の様々な方が集う場所として展開した方が現実的かつ効果があるという声もあり、「地域食堂」で進めている。

《智頭町長》さまざまな連携事業を実施するにあたって、鳥取市のみを頼っているのではなく、各町が本気で取り組まなければいけない。各観光協会等、関係者にも積極的な声掛けをして、苦労を共にする必要がある。

3 その他

4 閉会